支部通信

京都支部・京星會だより　(11月)

馥郁たる香氣，清楚濃艶とりどりに咲競ふ菊の11月．洛外の山野溪谷は絢爛たる錦を織りひろげ，秋の京洛はさながら畫のやうである．

★　3日菊の佳節を期して催された京阪神合同ハイキングは前號西森氏の紀行記の通り．京都，大阪，尼崎各地より馳參じた明朗潑溂たるアマチュア天文家の群によつて洛南，淀，巨椋池，宇治方面に秋晴れの1日が愉しく過された．天上の大自然の美を讃へる者は又地上の自然の美に深い關心をもつ者である事が示された．次回は來春5月の豫定期待を乞ふ．

★　15日(日)夜本部11月例會が京都三條通大毎京都支局に於て開かれた．山本一清博士の「ロケツト航空の話」と題する御講演あり，次に歐米のプラネタリウムを視察され數日前歸朝された高木公三郎氏によつて，「歐米のプラネタリウム」の御講話あり，持歸られた夥しい「プラネタリウム」に關する寫眞，出版物が陳列され，幻燈が寫され甚だ有益な得る處の多い例會であつた．例によつて熱心な會員の顏が揃つてゐた．

★　昭和11年度本部總會に就ては9月頃より京都の會員間に話があり，「天界」10月號にはその開催地及び內容に就て問ふ旨の記事が掲載されたが，本年の總會は日食の1936年を意義づけるものとして，大朝，大毎，其他の日食關係映畫の總蒐集上映を行なつてほしいとの希望があり，有意義な計畫として各方面へ折衝の結果，12月6日(日)京都で大々的に開かれる事となつた．準備打合せ其他に本部と協力して本會幹事の活躍がみられた．

大阪支部・大阪天文研究會1月例會

1. 日時　1月10日(日)　17時より
1. 會場　心齋橋筋「大丸」を南へ1丁西側「をぐらや」3階，心交社內にて
1. 新年茶話會と天文座談會　　1. 會費　50錢

——例により地方の方々もお出で下さいませ——

大阪支部（大阪天文研究會）通信（11月）

◈支部報第16號發行

11月18日附支部報用紙（縱35糎横25糎）2枚刷，第1頁は會告欄で11月總會案内と，特に大阪支部强化滿1周年に當り本部及び公文・高城兩氏よりの慶祝の御言葉が輝く，第2頁談話室は「青島旅行記」（大連志龍須生）にて140部を印刷發行，他方の協會員にして購讀希望者は郵税添附して大阪支部事務所宛申込まれたし.

◈11月例會並11年度總會の開催

11月21日17時より心齋橋筋「をぐらや」にて宮森新支部長の開會の挨拶によりて開會．先づ山本會長の大阪支部强化滿1周年總會を迎ふる所感と抱負の言葉を頂き，來年のプラネタリウム・生駒山天文臺の竣工により日本の天文學普及の中心が大阪に集る事を力説され一同深く感銘する．總會の司會者として宮森支部長が任ぜられ，座長・進行係兼任で大車輪に活躍せられる．西森庶務より11年度の事業報告（天界12月號86頁參照）あり，次に廣野會計監督より會計決算の發表あり．（收入 寄附金 134.40）收入の寄附金は全部大阪支部員の醵出したものである．次に大口庶務より來年度會計・事業案の發表あり，此の頃より運ばれた金75錢の定食を一同和氣靄々裡に食し此の間に各自の自己紹介が行はれ，記念撮影もされる．卓子上が再び綺麗に取片附けられて小型映畫映寫の準備が成り，阿倍野高女宮道先生の16粍，花山木邊先生の9.5粍の日食映畫各1卷と餘興にオリンピク水上軍の活躍振りを興味深く見る．場内が再び明かるくなり座談會に移り山本會長の天文學界に隱れた珍話祕話の講演，宮森支部長の氣象と天文の話，伊達氏の遊星面スケツチの發表等々今夕の豐富なプログラムは22時半盛況裡に閉會された.

（**出席者** 山本會長・宮森・百濟・高城・大口・久井・西川・井本・伊達・福井・清水謙・池野・神田・藤本・廣野・坂元・西森・西森・武田諸氏19名順序不同）

◈昭和12年度第1回委員會開かる

11月28日19時より「をぐらや」にて宮森支部長により開會され，司會者に就かれて大阪支部昭和12年上半期事業と12年度會計豫算を討議成案を見る．强化第2年度を迎ふる大阪支部の新事業として**新天文雜誌「銀河」創刊**の議題出で，趣味と初歩と最新知識にして「天界」の副讀本たる天文雜誌として發行方法・編輯方針・原稿募集方を愼重に討議し，年6回發行・會費年額1圓50錢，

新春1月下旬第1號創刊を見る事となる．全國の協會員の御申込を望む．編輯同人として本委員會出席者が推された．（出席者：宮森・百濟・高城・大口・伊達・井本・西川・西森諸氏）

大連支部報告（11月）

◆**支部强化さる**　當地渡邊，橋田，河合3氏の努力により滿洲唯一の强力支部として進むことになつた．

◆**總會，準備工作成る**　11月14日大連一中に於て（滿洲時）18時30分より開催．會則事業等を協議滿場一致決議さる．會する者14名．同時に役員指名され新たなる希望にもえ，20時50分記念撮影後散會．

同總會席上にて支部長より愉快なる報告を受く．即ち當地金州大和尚山頂に120吋大望遠鏡設置の太陽觀測所設立の提案を滿鐵に出された由，東洋一の天文名所が大連支部の地に出來るわけで，血湧き肉躍る思ひをして一同散會したのである．

◆**支部報「遼星」の發行**　機關紙として「遼星」を發刊されることになり，12月上旬發行の豫定．支部外の人は支部宛申込まるれば，實費にてお送り申します．頁數は毎號10—15頁，初步の天文愛好者に最適です．

◆**現在支部員**　準支部員合計30名．協會員の數こそ少ないが，協會の主旨を體し一意專心その目的のため突進しつゝあります．

◆**協會員**　の方で渡滿の折り是非共支部へお立寄りの程を，御一報下されば結構です．（11. 11. 23. 志龍須生）

倉敷天文臺創立10周年記念式報告

昭和11年11月8日大原農業研究所講習所に於て，10周年記念式を擧行した．13時半水野主事開會を宣し，原名譽臺長式辭を述べ，水野主事の事業報告に次いで小出理學士及び荒木健兒氏の研究報告後，記念講演に移り，山本博士は「太陽系創成の新說」の題下にカントやラプラスの星霧說に始まり，チエンバリン・モールトンの微遊星說，ジーンスの島宇宙說を述べ，最後にラツセルの新說として，二重星はその大さ，略等しきものもあるが，多くは大と小とからなつて居る．太陽は以前に今一つ小なる星との二重星であつた．それ

が或る時に宇宙をさまよつて居る一恒星と小なる星とが衝突して，分裂し現今の遊星を生じたものであるから，各遊星は同一時に生れ出たものであるとの新說を紹介せられ，聽者の大なる興味を惹いた．この新說は1934年11月8日出版の The Solar System and its Origin に因つて發表されたものであると．16時閉會後，山本博士は高知縣に向はれた．（水野千里）

高　知　通　信

今後高知通信を送ります．今まで天文の高知はあまりに靜かでしたが，昨年太陽課の久保君を得るに至り，俄然活氣を呈し6月の日蝕には時刻觀測，寫眞撮影，氣象觀測と測候所班を凌ぐ優秀な成績を得．又，久保君の熱心な努力により黑點觀測日數に於て全國にて1，2を爭ふ現狀です．新聞社と連絡し，天文記事の揭載等一般にも大いに普及．最近には當地御出身東京支部長五藤齊三氏御歸縣に際し，太陽投影器や幻燈を使用しての天文講演會，會員の指導による天體觀測會，日蝕寫眞，5米水平寫眞機等天體寫眞展覽會，篠崎高校教授，赤松高知測候所長其他同好者多數參會の光學座談會等と多方面の催が行はれました．次に元祿時代の土佐天文學者谷泰山先生の遺品展覽會が，10月6・7・8と3日間岡書館に於て催され，百刻壞，平水溝，正方案等の觀測機械類，1尺5寸に3尺5寸の星座圖，保井春海自筆の貞享歷，日本書記曆考，元天文法等の手記本，其他我國天文學の黎明時代を物語る貴重なる文獻多數出品されました．御多用中にも不拘，山本先生にも列席して戴く事が出來，熱心に研究されました．準備も整はず，短時間にて充分の御滿足を得られなかつた事を恐縮して居ります．種々な催しにより同好者も多數に出來ましたので，他支部に負けない立派な支部が正式に近々出來上る事を御知らせ申上ます．（高知市　正木健三記）

會告　◈昭和11年度總會並びに一般公用の日食映畫と講演會は京都日出新聞社の援助のもとに，京星會々員の非常な盡力によつて，豫定通り同社に於て盛況裡に終了した．

◈總會に提出された會則改正栽は可決され，新會則による役員――會長(1名)，副會長(2名)，會計監督(1名)，幹事(9名)――の決定を見，早速新幹事は幹事會を構成，將來の大方針を協議，目下活躍中．……以上詳細は追號誌上に發表．期待を乞ふ．